

安全データシート(SDS)

作成日: 2024年 4月 2日

改定日: 年 月 日

1、製品等及び会社情報

製品名 : EXPRESS CLEAN 無香料
会社名 : 木村石鹼工業株式会社
所在地 : 大阪府八尾市北亀井町2-1-30
担当部署 : 技術・開発部
電話番号 : 072-994-7333
緊急時の連絡先 : 同上
FAX : 072-993-7188
推奨の用途 : 洗濯洗剤

2、危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A

生殖毒性	区分1A
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性 短期(急性)	区分2
水性環境有害性 長期(慢性)	区分3
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な眼の損傷 発がんのおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害
安全対策	使用前に取り扱い説明書を入手すること すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急処置	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること
保管	施錠して保管すること
廃棄	内容物／容器を(国際／国／都道府県／市町村の規則に従って)廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名 :

	成分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号	濃度 (wt%)
①	ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンラウリルエーテル	(7)-97	68439-51-0	非開示
②	ポリオキシエチレントリデシルエーテル	(7)-97	69011-36-5	非開示
③	ジオレイルジメチルアンモニウムクロリド	(1)-215 (2)-184	35724-28-8	非開示
④	ニトリロ三酢酸三ナトリウム	(2)-1277	5064-31-3	非開示
⑤	ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	(1)-215 (2)-184	7173-51-5	非開示
⑥	イソプロピルアルコール	(2)-207 2-(8)-319	67-63-0	非開示
⑦	クエン酸ナトリウム	(2)-1323	68-04-2	非開示
⑧	炭酸カリウム	(1)- 153	584- 08- 7	非開示
⑨	無水クエン酸	(2)-1318	77-92-9	非開示
⑩	着色料	-	-	非開示

⑪	精製水	-	7732-18-5	非開示
---	-----	---	-----------	-----

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静を保つ。 状況に応じて医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水かぬるま湯で流しながら石鹸等を使って良く洗い流す。皮膚の弱い人は保護クリーム等を使用する。 外観に変化がある場合や痛みが続く場合は、医師の診察を受ける。
眼に入った場合	直ちに多量の水で洗眼する。コンタクトレンズを使用している場合は外す。 異常を感じる場合は医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水で口をすすぐ。無理に吐かせず、水または牛乳を飲ませる等の処置を取る。 医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、泡、炭酸ガス、水、乾燥砂など。
使ってはならない消火剤	情報なし。
特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なガス(またはヒューム)が発生するおそれがあるため、消火の際には煙を吸い込まないように風上から行い適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。 関係者以外は立ち入らせず安全な場所に避難させる。
消火を行う者の保護	適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、保護マスク、保護面等)を着用させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏洩物に触れたり、その中を歩かない。
保護具及び緊急時措置	適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、保護マスク、保護面等)を着用する。 屋内の場合措置が終わるまで十分に換気を行う。 漏洩した場所の周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	漏洩物が河川等に排出され環境への影響を起こさないよう注意する。 汚染された排水が適切な処理を経ずに河川などに排出されないよう注意する。
回収	空容器に回収し、ウェス等で拭き取り、その後に大量の水で洗い流す。
封じ込め及び 浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 回収する容器は製品が入っていた容器の材質、ステンレス、ポリ容器を用いる。
2次災害の防止策	情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	【8. ばく露防止及び措置】の章を参照。設備対策を行い、保護具を着用する。
	注意事項	火気注意。
	安全取扱い注意事項	取扱いは換気のよい場所で行う。
保管	保管条件	容器は直射日光を避け、乾燥した場所に貯蔵して密閉し空気を遮断する。
	容器包装材料	納入時の容器での保管が望ましい。移し替える際はステンレス、ポリ容器を用い、容器の構造は納入時の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。	
許容濃度	日本産業衛生学会	設定されていない。
	ACGIH	設定されていない。

設備対策	取扱い場所近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。	
保護具	呼吸器の保護具	保護マスク
	手の保護具	ゴム手袋
	目の保護具	側板付き普通眼鏡型またはゴーグル型保護眼鏡。
	皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴
衛生対策	取扱後はよく手を洗うこと。	

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態・形状	液体
色	青色透明
臭い	原料に由来する香り
PH	10.5±0.5(原液)
融点・凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
燃焼または爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(密度)	1.001g/ml
溶解度	水に易溶
オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	光、衝撃に対して安定である。ただし、40℃以上の高温下での長期保管は品質の劣化を起こすので避けること。
危険有害反応反応性	情報なし。
避けるべき条件	情報なし。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物質	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性(経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性(吸入)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼区分1の成分が≥1%のため、区分1に該当。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	区分1Aの成分が $\geq 0.1\%$ のため区分1Aに該当
生殖毒性	区分1Aの成分が $\geq 0.3\%$ のため区分1Aに該当
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水性環境有害性 短期(急性)	(急性1 $\times 10\times$ 毒性乗率) + 急性2=34.5%で25%以上のため、区分2に該当。
水性環境有害性 長期(慢性)	(慢性1 $\times 100\times$ 毒性乗率) + (慢性2 $\times 10\times$ 毒性乗率) + 慢性3=30.0%で25%以上のため、区分3に該当。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
土壌中の移動性	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を受託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

国内規制: 国内法に従う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法			該当する	
	管理番号	政令番号	名称及び化学名	含有率(wt%)
②	407	1-460	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	4.5
④	698	1-356	ニトリロ三酢酸及びそのナトリウム塩	1
労働安全衛生法			該当する	

No.	名称等を表示・通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2)		含有率(wt%)
—	別表第9の494	イソプロピルアルコール	0.1～0.3
	第2種有機溶剤等・有機溶剤中 毒予防規		含有率(wt%)
—	—		—
毒物及び劇物取締法		該当しない	
	表示	名称	含有率(wt%)
—	—	—	—
火薬類取締法		該当しない	
高压ガス保安法		該当しない	
消防法		該当しない	
化審法		該当しない	
船舶安全法		該当しない	
航空法		該当しない	
海洋汚染防止法		Y類、Z類物質を含む	

16. その他の情報

引用文献	・化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂7版 ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2019) ・GHSに基づく化学物質等の分類方法(JIS Z 7252:2019) ・化学物質等安全データシート(MSDS)ー第1部:内容及び項目の順序(JIS Z 7250) ・GHSに基づく化学物質等の表示(JIS Z 7251) ・GHS混合物分類判定システム(ver6.0)(経済産業省) ・本製品に使用している原料メーカー発行の安全データシート ・NITE GHS分類結果
------	---

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。また、本品の適性に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。